



機械物動ノ設定（案）

一七、七、二四

（一）從來各需要部門ニ要スル機械用資材ハ土建用資材等ト共ニ資材トシテ
需要部門毎ノ物動枠ニ組マレシ爲機械製作者トシテハ發註承認入手其
他受註ノ決定アリテ初メテ生産ニ着手スルモノニシテ計畫生産ヲナシ
得ザリシ狀態ナリ故ニ之ヲ改メテ機械ハ其機種及數量ヲ以テ物動枠ニ
組ミ込ムコト、ス即大体左表ノ形トナル

0717

製造アリ

0718

二 機械物動ノ建テ方

一、企業院（及所管官廳）ハ年度物資生産額充計畫ヲ立ツ（第一表）

物資名單位	生産額	
	年度	年度
鐵 鋼		
石 炭		
アルミウム等		

二、事業者ハ右年度生産計畫ニ要スル資材及機械數量ヲ概定ス

事業者年度資材概定計畫書（第二表ノ一）

資材機械製品
利配当決定後

資材名單位	年度	
	補修用 擴充用 運轉用 計	補修用 擴充用 運轉用 計
普通鋼		
普通鋼		
電氣銅等		

0719

事業年度機械概定計畫 (第二表ノ二)

機械名 略仕様	所要年度		所要年度	
	台数	金額	台数	金額
送風機				
ポンプ				
起重機等				

機械局

三機械統制會ハ生産能力ニ應ジ生産引受數量及所要資材ヲ概定シ同工省
機械局經由企畫院ニ提出ス

機械統制會年度生産概定計畫 (第三表)

機械名 略仕様	受託台數 及金額		所要年度		所要年度		完成台數 及金額
	年度	年度	年度	年度	年度	年度	
送風機			鋼材	銑鐵	銅	鋼材	銑鐵
ポンプ							
起重機等							

0720

事業者年度資材實施計畫書（略ス）

事業者年度機械實施計畫（第五表）

0722

此生産計、表ハ(イ)及(ロ)ニ分ツ

汎用機械ニシテ同一仕様ノモノニテ需要量多ク多量生産ヲ可トスルモノハ仕込生産計畫ヲ立テ各業者ニ生産切當ヲナス

[illegible]

第七表 様式第六表ト全シ但シ製作
着手トアルヲ受註ト改ム

0723

七、事業者ハ年度機械實施計畫ノ範圍内ニ於テ毎四半期毎ニ發註計畫ヲ立
テ機械統制會ニ提出ス

事業者毎四半期機械發註計畫（第八表）

機 械 名 略	仕 様 台 數	金 額	希 望 製 作 所	所 要 時 期

0724

ハ發註及受註査定

此ノ物動ルニ當リ
査定ハ併種別ヲ考慮
スルニテ可決ス

事業者ハ第八表發註計畫ニ基キ其期間内ニ發註ノ手續ヲナス
機械統制會ハ之ニ對シ受註査定ヲナシ第六、第七表生産計畫ノ範圍
内ニテ可決ス

仕込生産ノ機種ノモノハ其内ヨリ引當決定ヲナシ其他ノモノハ新規
製作ニ着手スルモノトス

九所要資材ハカードニヨリテ申請ス

統制會ハ之ヲ期ノ分毎ニ集計シ生産計畫ノ範圍内ニテ割當ヲナス
計畫トノ多少ノ狂ヒハ次期ニ繰越シ調整ス

十計畫決定時期

現在ノ鋼材需給計畫化實施下ニ於テハ鋼材所要當該期開始ノ四ヶ月
以前ニ於テ推定割當ガナサレル

此推定割當ノ時ニ品種別、寸法別ニ申込ムヲ要ストセバ此以前ニ於
テ機械ノ製作ヲ決定セザルベカラズ

此事情ヲ基礎トシテスベテノ計畫時期ヲ定ムレバ左表ノ通りトナル

0725

本表より日進を速め

第一四半期			第二四半期			第三四半期			第四四半期			第一四半期		
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
	企業年度物資生産擴充計畫(第一表)	事業者年度資材及機械概定計畫(第二表)	機械統制會年度生産概定計畫(第三表)	企業年度機械計畫(第四表)	事業者機械年度實施計畫(第五表)	事業者每四半期發註計畫(第八表)	機械統制會年度生産計畫(第六及第七表)	受註可決	鋼材推定割當		消費割當		鋼材入手	

一、實施ニ就テ

吾輩トモ見ナリ

イ 機械物動ノ目的カラセバ全用途別ニ對シ所要機械ノ数量ヲ概定シ
計畫スルヲ要スレドモ最初カラ全部ニ亘ル事ハ實施上困難ナラバ
先ヅC2生産額充用カラ初メ其他ノ用途ノモノハ豫算金額ヲ計上シ
之ヨリ逆算シテ資材ヲ推定スル方法ヲ採用スル事
生産額充用ノ分ト雖止ムヲ得ザルモノハ豫算金額ヨリ逆算スルモ
ノトス

但シ此逆算ヲ出來ル丈正確ニスル爲ニ能フ限リ機種ヲ分類スル事
金額ヨリ逆算スル一般用途ノモノト雖其機械及資材ノ確保ハC2關
係ノモノト全様扱タル事

頗ル当然ナリ

ロ 實施ニ當リテ機械統制會トシ先ヅ準備ヲ完了スベキ事項左ノ通り

a 各會員毎各機種毎生産能力調査

b 主ナル各機種毎資材表ノ作製

c 主ナル各機種毎一萬圓當リ資材表ノ作製

ハ將來ニ亘リ計畫ヲ簡易化シ正確化スル爲ニハ

終稿

0727

各會員ノ生産分野劃定ヲ行フ事
各種ノ整理、標準化ヲナス

以
上

0728